

子どもが伸び伸び遊べる公園 安全点検と維持管理に努め LED照明による防犯対策も

北わんぱく広場や中尾親水公園などがあるが、十分ではないと認識している。市が新たに土地を取得して公園を整備することは難しいが、土地の寄付や無償借地等があった場合には整備を検討する。

安全対策として、公園施設の安全点検を年4回実施し、修繕などの維持管理に努めるとともに公園内が見渡せるよう生け垣を低くするなど、地域の人に見守ってもらえるような



中尾親水公園

対策を行う。今後はLED照明に更新し、公園内を明るくする等の防犯対策も進めていく。

食品ロス削減

学校給食も含め

有効活用を検討を

食品ロス削減の取り組みと学校給食の残食状況や気象警報発令時の対応を聞く。

本市の家庭ごみの約3割が食品廃棄物である。昨年5月に食品ロスの削減の推進に関する法律が公布されたことを受け、出前講座で自治会等への普及啓発に努めている。また、市内小売事業者が実施

西明石の活性化に向けて

駅周辺地域のまちづくり

JR西日本と協議中

西明石活性化のこれまでの取り組みと今後の見通しを聞く。

西明石活性化プロジェクト協議会が取りまとめたまちづくりの姿では、西明石駅および駅周辺の安全性と利便性が低いことや、行政サービスの機能および地域交流拠点が不足していることが課題として示されている。

市は、これらの課題解決に向けて、西明石駅南側の旧国鉄清算事業団用地に公共施設と住宅が入る複合ビルの建設を検討し、隣接す

不祥事の再発防止 生活保護行政 信頼の回復を目指す

昨年、本市の生活保護行政で相次いで不祥事が発覚した。再発防止策の検討状況を聞く。

本市では、ケースワーカーによる記録の虚偽記載と課室の金庫から生活保護費等の金銭が紛失する事案が発生した。再発防止策を検討するため、弁護士な



西明石駅南側の旧国鉄清算事業団用地

どの外部有識者を加えた生活保護行政のあり方検討チームを設置し、これまで3回の会議を行った。今後、市長へ報告・提言する予定だ。また、ケースワーカー業務を適切に行うため、今年度から育児休業者等を除く実働人数が、80世帯ごとに1人の配置となるよう人員体制を整える。

インクルーシブ条例 全ての人が 暮らしやすい社会

本市が目指すインクルーシブ社会の概念と条例の検討に係る市民参画について聞く。

本市は、障害者だけでなく、全ての人が暮らしやすいインクルーシブ社会を目指している。(仮称)あかしインクルーシブ条例を市政全般にわたる指針として制定し、誰一人取り残さないというSD

GSの基本理念のもと、各分野の計画策定や制度設計を行い、事業を推進していく。

また、地域に根差したインクルーシブ社会の実現には、市民の理解と意見の反映が重要であるため、市民フォーラムや体験交流イベントの実施、出前講座や高齢者大学など、地域に向き、対話を意識した啓発を行っている。今後さまざまな交流の場を対話する機会と捉え、幅広い手法で市民参画を図りたい。

いつもの物を

もしもの時に

フェーズフリー

平時時と災害時の垣根を取り払い、普段から利用している商品やサービスを災害時にも適切に使えるようにするという考え方(フェーズフリー)を広めて

入費を計上した。フェーズフリーの商品やサービスが浸透することにより対応力が向上し、災害に強いまちづくりにつながる。ことから、今後はこの考え方を市民に周知・啓発していくため、地域の防災訓練や小中学生対象の防災学習など、さまざまな場面での活用を検討していく。

委員会行政視察

市議会では、議員の見識を深め、市の施策や審議、議運営の参考とするため、先進自治体への行政視察を行っています。詳しくは市議会ホームページをご覧ください。

議会運営委員会

(令和2年1月30日~31日)

1月31日(金)／東京都国分寺市議会
視察概要

国分寺市では、市議会災害対応規程および災害対応マニュアルを策定している。昨年、台風19号が接近した際には、実際に議会において災害対策支援本部を設置しており、市の災害対策本部からの情報伝達の方法、時系列での対応経過やその検証・考察、当時の緊迫した状況などについて説明を受けた。

このほか、大災害の発生を想定し、徒歩での参集訓練や災害対応マニュアルについて的小テストを行うなど、ユニークな取り組みも行っている。

その他の視察

1月30日(木)／東京都豊島区議会
議会における災害時の対応、障害者に配慮した議会体制等

新庁舎整備事業

新庁舎整備検討特別委員会(令和2年2月4日~5日)

2月5日(水)／広島県三原市
視察概要

三原市の庁舎は、各階ごとにシャッター扉でセキュリティ区画を設定しており、各フロアの中心に執務スペース、各階のセキュリティ区画外に階段と会議室を配置している。庁舎スペースの需要が低下してもフロア単位の転用や貸し出しができる構造にすることで、市民への会議室の貸し出しにも対応できるようにしている。

また、サイン(看板)は来庁者に分かりやすい色を使い、総合案内サイン等はレイアウト変更時にも対応しやすいよう、マグネット式にしている。

その他の視察

2月4日(火)／山口県周南市
新庁舎整備事業